

ロシアのウクライナ侵攻に抗議する  
ロシアはウクライナから撤退せよ！

ロシアのプーチン大統領は2月24日、ウクライナの東部地域における親ロシア派住民の権益を擁護し、かつ同地域の親ロシア派勢力の要請を受けたとの口実を使いウクライナへの侵攻を決断、ウクライナ各地への攻撃を開始した。

ウクライナは元々旧ソヴィエト連邦の一員であったが、ソ連邦の崩壊に伴い1991年に独立した国家である。したがって、ロシアがウクライナを自国の領土もしくは属国として支配しようとすることは明白な侵略行為である。過去のウクライナの大統領選においてウクライナ国民が、親ロシアよりも親ヨーロッパの大統領を選出したことはウクライナ国民自身の選択であり、いかなる国といえども干渉することは出来ない。今回、ウクライナがNATOへの加入を指向していることに対し、ロシアが快く思わないからといって、ロシアの意向に強権的に従わせることはウクライナの主権を踏みにじることであり、絶対に許されないのである。

今回の侵攻にあたってロシアは核の保有を脅しに使っているが、被爆国民である私たちは、こうしたロシアの態度を厳しく糾弾するとともに、すべての核保有国が核廃絶に向けて直ちに行動を開始することを改めて要求するものである。

また、ロシアがウクライナから直ちに撤退するよう全世界があらゆる外交努力を積み重ねるよう求めるとともに、「ロシアは直ちにウクライナから撤退せよ」との国際世論を高めることを求めるものである。

2022年2月25日

コミュニティユニオン東京第6回執行委員会